



学校説明会開催！

第1回	第2回	第3回
10.20 _日	11.16 _土	12.8 _日

いずれも9:30～11:30(受付は9:00～)

お申し込みはWEBフォームよりお願い致します。

小学生向け

中学生向け

第1回
(10月20日)



https://seed.software/public/shugakukan_jr/6c259c44ba

第2回
(11月16日)



https://seed.software/public/shugakukan_jr/b81f617d55

第3回
(12月8日)



https://seed.software/public/shugakukan_jr/64b7c49f86



<https://seed.software/public/shugakukan/f416d26db3>



<https://seed.software/public/shugakukan/3368769a93>



<https://seed.software/public/shugakukan/adccad4ca4>

☒ お申し込みは必ず **各開催日の2日前** までにお願致します。

- ドメイン指定受信(受信拒否等)をされている方は「sasawaki@shugakukan.jp」からのメールを受信可能に設定してください。
- 受付完了メールが届かない場合は迷惑メールフォルダに手続き用のメールが届いていないかご確認ください。

※お申し込みの際にご提供いただいた個人情報については、学校情報の提供以外の目的では利用致しません。 ※駐車場は体育館・校舎周辺にご用意しています。

お問い合わせ



学校法人 津曲学園

鹿児島修学館 中学校・高等学校

KAGOSHIMA SHUGAKUKAN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒890-0023 鹿児島市永吉二丁目9番1号

TEL.099-258-2211

www.shugakukan.ed.jp/



学校法人 津曲学園

鹿児島修学館 中学校・高等学校

KAGOSHIMA SHUGAKUKAN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

ツクツク学 す」曲

みんなが学ぶことの楽しさを知り、
学び続ける力を身につける学校





ワクワク「学」の曲

みんなが学ぶことの楽しさを知り、
学び続ける力を身につける

みなさんはどのようなときにワクワクしますか？
どのようなことに「学ぶことの楽しさ」を感じますか？

今の小中学生が生きていくこれから100年ほどの世界で
必要とされる「学び続ける力」とはどのようなものでしょうか？
それらの力を身につけるにはどうすればよいのでしょうか？

「みんなが」本当にこの目標を実現するには何が必要でしょうか？

鹿児島修学館は学校教育目標実現のため、
このようなことを考え続けています。
約160の国や地域の学校で導入され、
世界中で高い評価と信頼を集めている国際バカロレア教育を導入したのもそのためです。

どうすれば「みんなが学ぶことの楽しさを知り、学び続ける力を身につける」ことができるでしょうか？
いっしょに考え、実現していきませんか？





中学1年～高校3年まで6年間にわたる

鹿児島修学館での学び（グランドデザイン）

津曲学園の基本理念

育成すべき人材 「国際的視野でものを考え、地域社会に貢献するための人材」
「地域に暮らす人々の生活を生涯支え続けるための人材」

育むべき能力 「高い思考力と豊かな判断力」

目指す生徒の姿 (IBの学習者像)

探究する人／知識のある人／考える人／コミュニケーションができる人
信念をもつ人／心を開く人／思いやりのある人／挑戦する人／バランスのとれた人
振り返りができる人

ミッション・ ステートメント

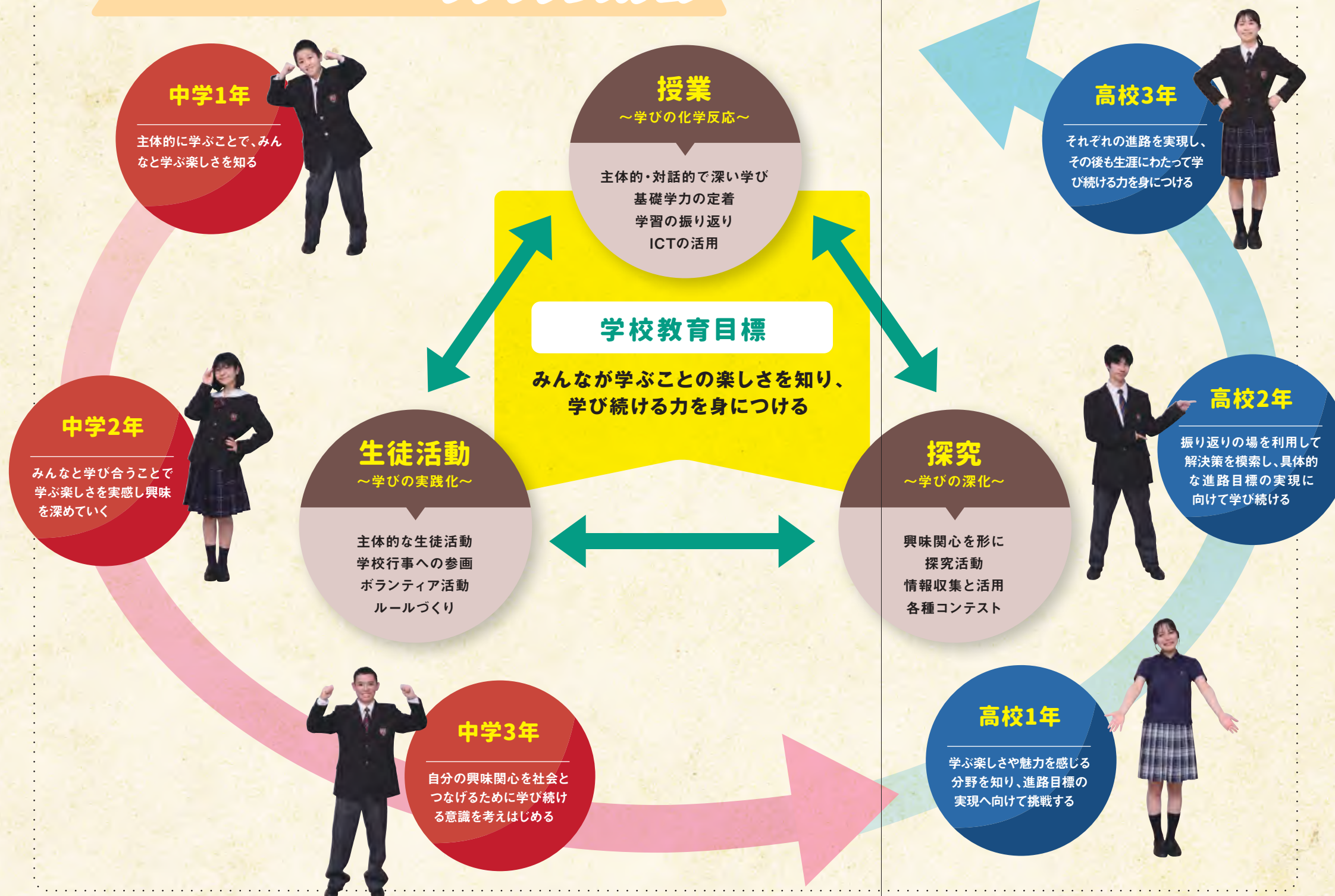
育む資質・ 能力

克己 ◎主体性、創造性を培い、生涯にわたって学び続ける力を育む
礼節 ◎互いの人格と個性を尊重し、支え合う心を育む
飛躍 ◎健全な精神、広い知見、旺盛な探究心を養い、
絶えず発展しようとする態度を育む

・学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」
・実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
・未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」

学ぶ楽しさを知り、人生が豊かになる

ワクワクシステム



6学年が交流し育む学び

体育祭



中1～高3を紅白に分け、生徒主
導で行う体育祭は6学年が交流
する絶好の機会。高校生のリー
ダーシップは中学生たちにとって
大きな刺激となり、リーダー育成
の場としても大きな役割を果たし
ています。多くの時間の共有は、
双方に有意義な経験となります。

文化祭



中・高生徒会が主体となって企
画・運営を行う文化祭は、学年
の枠を超え、日頃の学習の成果
などを中心に発表を行います。
行事を通じて得た団結力は、生
徒たちの大きなパワーになり、
育んだ集中力で内面をさらに成
長させています。

部活動



中高が一緒に活動している部
もあり、高校生の経験や技術に
触れることで自らの成長につな
げる中学生と、後輩への指導を
通じてマネジメント力を磨く高
校生。先輩後輩の壁を超えた
アットホームな環境は双方に
とって貴重な6年間です。

生徒会活動



中学校と高校はそれぞれで独
立した生徒会があり、活動して
います。高校生はこれまでの
経験を活かして中学生をサ
ポートしたり、中学生は高校生
に相談したり、お互いに意見を
交換しながらより良い生徒会
活動へとつなげています。



国際バカロレア（IB）

修学館ならではの取り組み



九州初！^{※1} グローバル教育として、世界約160ヶ国で導入されている
国際バカロレア中等教育プログラム(MYP)認定校！
国際的に通用する人材育成を目指します。

※1)学校教育基本法第一条校として

国際バカロレア (IB) とは

国際バカロレアとは、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムです。国際バカロレア（IB:International Baccalaureate）は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキル

を身につけさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確認することを目的として設置されました。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。

修学館とIBプログラムについて

国際バカロレアにはグローバル化に対応できるスキルを身につけた人材を育成するため、生徒の年齢に応じて、PYP（3～12歳対象）、MYP（11～16歳対象）、DP^{※2}（16～19歳対象）などの教育プログラムがあります。修学館では、11～16歳を対象としたMYP（Middle Years

Programme）を中学1年から高校1年まで受講します。MYPでの学習は、所定のカリキュラムを2年間履修した上で最終試験で所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能なDP（Diploma Programme）につながります。

※2) 修学館は現在、MYPの認定校、DPの関心校です。DPの導入時期については未定です。

IBの学習者像





探究活動

修学館ならではの取り組み



自己の興味や関心に基づいて深く探究する修学館の探究活動。 コンテスト参加を目標に、知見を広め、論理的思考を育みます。

修学館では、自己の興味や関心に合わせて自由にテーマを設定し、1年スパンでの探究活動を行います。週に1度、総合的な探究学習の時間を設け、グループでの意見交換や教員によるアドバイス、情報収集・整理、研究計画書の作成、論文執筆など、1年後の発表に向けてそれぞれが主

体的に取り組んでいます。最終的には高校生国際シンポジウムや高校生ビジネスグランプリ、高校生よかアイデア課題研究発表大会など、目的に合わせたコンテストへの参加を目標にし、探究活動を通じて、物事に対する好奇心の喚起を促し、知見を広め、論理的思考を育みます。

探究活動の流れ

調査(研究テーマを決め、問いを立てる)

4～5月で自分が興味・関心をもつことをテーマとし、徹底して先行研究を調べます。そこから、自分が明らかにしたい問いを立て、研究をスタートします。

計画(研究計画書作成)

問いに対する仮説をつくり、どうすればそれが実証できるか、行動の計画を立て、研究計画書を作成します。毎週、グループごとに進捗状況を報告。定期的に意見交換を行うことで、互いの研究を発展させるだけでなく、コミュニケーション能力や批判的思考力を養います。

行動(データの収集)

夏休みを利用して、作成した計画に沿って行動していきます。

最終発表、ふりかえり

先生や仲間、先輩や後輩に自らの研究を発表します。

発表の場は校内だけにとどまらず、高校生国際シンポジウムをはじめ様々。
多くの先輩が学校の外でも活躍しています。

【昨年までのおもな実績】

【2018年】一般社団法人Glocal Academy主催「第4回高校生国際シンポジウム」プレゼンテーション部門・優良賞受賞 / 鹿児島国際大学主催「第2回高校生よかアイデアコンテスト」にて入賞
【2019年】一般社団法人Glocal Academy主催「第5回高校生国際シンポジウム」ポスター発表部門・最優秀賞受賞 / 「Global Link Singapore」出場
【2020年】一般社団法人Glocal Academy主催「第6回高校生国際シンポジウム」出場 / 「高校生ビジネスグランプリ」ベスト100 / 「令和元年度マイプロジェクトアワード九州 Summit」出場 / 「そうしんアグリビジネスプランコンテスト2020」特別賞受賞 / 株式会社マイナビ主催「進路のミカタLIVE2020」ポスター出展 / 公益財団法人 自動車技術会主催「第9回カーデザインコンテスト」出展
【2021年】一般社団法人Glocal Academy主催「第7回高校生国際シンポジウム」出場
鹿児島国際大学「高校生課題探究発表大会2021」プレゼン部門・優秀賞受賞 / ポスター部門・奨励賞受賞
【2022年】第29回鹿児島県高等学校生徒理科研究発表大会 出場
【2023年】日本政策金融公庫主催「第11回高校生ビジネスプラングランプリ」高校生ビジネスプラン・ベスト100受賞

【課題研究テーマの一例】

◆成長し続ける作品 ◆自宅の自転車を用了意欲向上への取り組み ◆十島村の医療体制の取り組み ◆鹿児島黒牛の新たな広報戦略

※高校1年生では、MYPの集大成として「Personal Project」に取り組みます。



個別最適な学びと協働的な学び

修学館ならではの取り組み



ICTを活用した学習支援や深い学びにつながる先進的な授業など一人ひとりの学ぶ意欲を向上させる取り組みが盛りだくさんです。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を実現するため、修学館では、スタディサプリやマンツーマンオンライン英会話などのICTを活用した学習支援をはじめ、選択制朝課外、学び合いの多い授業など、先進的な取り組みに絶えずチャレンジしています。

2023年度にはパナソニック教育財団実践研究助成校に指定され、生徒一人ひとりが学ぶ楽しさを知り、学ぶ力を身につけることができる環境を整えています。



取り組みピックアップ



オンラインによる学習支援

オンラインでの教育プラットフォーム (Google classroom) や、スタディサプリなどの学習支援アプリを活用し、学習支援体制を充実させています。不測の事態にもオンラインで対応できるよう、教員のスキル向上を図っています。



マンツーマンオンライン英会話導入

一人一台端末だからこそできるマンツーマンオンライン英会話を実施。英語のListeningスキルとSpeakingスキルを向上させる近道は、ネイティブスピーカーと直接会話できる機会を多くもつことです。年に5回は授業の中で、20回は家庭で英会話に挑戦します。授業のあとはいつも「もっと上手く話せるようになりたい!」「前よりたくさん話せた!」などの声が教室にあふれ、英語学習のモチベーションアップにつながっています。



アウトプットを念頭に置いたインプット

授業では、学習内容を誰かに説明する、表現するなど、アウトプットすることを目標にしています。アウトプットを意識しながらインプットを行うことで学習内容が長期間にわたって記憶に残るようになり、成績向上につながります。



友達や先輩・後輩と協力し合いながらの自主的な活動を温かく見守ってくれます。

バスケットボール部に所属していますが、中学生と高校生の壁がなく仲良く練習しています。先輩が丁寧に教えてくれるので着実に上達していると思いますし、部員全員で協力しながら取り組む部活動の時間が楽しくて仕方ありません。部活動に限らず修学館は友達と協力し合うグループ活動が多く、生徒の自主的な活動を温かく見守ってくれる学校です。将来の夢は建築士として活躍すること。現場の人と協力しながら働くためのコミュニケーションスキルや協働スキルが自然と身につく今の環境をフル活用しながら、夢に向かって毎日全力です！

菅 勇登さん(中学2年生)

周囲の人たちとお互いを高め合える修学館は私の理想にぴったりの学校です。

修学館に通っていた兄がクラスマッチや体育祭などの行事で他学年の人たちとの関わりを大切にしているのを見て、私も同じ環境で中学・高校の6年間で過ごしたいと思い入学しました。吹奏楽部で高校の先輩と一緒に活動したり、クラスメイトと意見を出し合う『学び合い』重視の授業を通して、周囲の人たちと協力しながらお互いを高め合う学校生活は私の理想にぴったりです。将来は医療関係もしくは音楽関係の仕事に就きたいと考えているので、夢の実現に向けた様々な目標を立てて、それを達成できるように頑張ります。

柳元 実織さん(中学2年生)



生徒の自主性を大切にしてくれる環境でいろいろなことに挑戦しています！

先輩・後輩問わず生徒同士の仲が良く、楽しい学校生活を過ごせるように先生方が優しく見守る学校、それが修学館です。少人数制なので校舎や施設などの各スペースにも余裕があり、リラックスして勉強に集中できるのも修学館ならではの利点ではないでしょうか。学校生活での印象的なエピソードは文化祭で有志によるヨーヨーパフォーマンスを披露できたことです。自分たちで企画し、たくさん練習して無事に本番を迎えられました。生徒の自主性を大切にしてくれる恵まれた環境に感謝しながら、これからもいろいろなことに挑戦していきます！

五代 大和さん(中学2年生)



『何事も楽しんで挑戦する』ことをモットーに前向きに過ごす毎日は充実そのものです！

学校説明会に参加した時に先輩たちが自主的に教室へ案内してくれたり、いろいろな説明をしてくれるのを見て「私も先輩たちみたいになりたい」と憧れたのが修学館入学のきっかけでした。修学館はプレゼンテーションを行う機会が多く、もともとは人前で話すことが苦手だった私もプレゼンテーションをたくさん経験できたことで人前で話すのが得意になりました。授業ではグループワークも盛んに行われ、男女関係なく全員が自分の意見を伝えたり、自分以外の意見を聞くことで新しい発見があり、それがとても楽しいです。『何事も楽しんで挑戦する』が私の学校生活のモットーなので、正門に生い茂っていた雑草を抜いて花を植えるSA活動や生徒会活動、イベントの司会進行など、いろいろなことに挑戦しています。生徒の背中を優しく押してくださる先生方のおかげで、自分の得意なことや新しい自分を見つけるチャンスがたくさん！前向きな気持ちで取り組めばどんなことでも楽しめると思いますし、学校生活での様々な経験が私を助けてくれる日がいつか必ず来ると思います。修学館は私の成長を後押ししてくれる学校です！

町田 あおいさん(中学3年生)

少人数制の学校なので、充実している設備をゆとりを持って贅沢に使うことができます。

修学館は自由な空気が流れる学校で、授業も休み時間も楽しく1日があっという間に過ぎていきます。先生とはもちろん、先輩・後輩とコミュニケーションを取る機会也非常に多く、年齢で上下関係を感じることはありません。クラスマッチの際に先輩に話しかけてもらったり、逆に後輩に話しかけたりしてクラスメイト以外の人たちともいろいろな話で盛り上がるなど、競技以外の時間も充実しているのも修学館ならではの利点だと思います。また、校内の設備がとても充実していて、特に体育館の大きさには驚きました。こうした設備をゆとりを持って贅沢に使うことができるのは少人数制の学校のメリットではないでしょうか。将来はサッカー関係の仕事に就くという目標があり、サッカー部でチームメイトと一緒にボールを追いかける時間が楽しくて時間が経つのを忘れてしまいます。サッカー関係の仕事は選手だけではなく、監督やスポーツドクターなど、様々な可能性のある業種なので、自分に何が向いているのかをじっくり考えながら毎日を丁寧に過ごしたいと思います。

青山 浩太郎さん(中学3年生)





疑問やわからないことを解決するために
自ら行動を起こす力が自然に身につきます。

アクティブ・ラーニングでの主体的・対話的な深い学びを通して自分
に足りないものを分析し、計画を立てて行動・実践することで解決へ
とつなげることができるようになりました。疑問やわからないことをそ
のままにせず、自分たちの力で納得のいく解決へと導けた時の嬉しさ
は修学館でしか味わえないと思います。

田邊 陽和さん(高校3年生)



最先端の学習環境が整っているので、
予習・復習や弱点克服がとてもスムーズです。

防衛大学校への進学を目指しています。受験に備えてバスケットボー
ル部の練習後に自習室で勉強していますが、校内Wi-Fiや個人用の電
子端末、学習支援アプリなどのICT環境が充実しているので、予習・復
習や弱点克服がとてもスムーズ。先生方が受験や今後の進路につい
て丁寧にサポートしてくれるのも心強いです。

織田 正太郎さん(高校2年生)

生徒会活動での経験や勉強で得た知識を
人の生活に役立てられる仕事に就きたいです。

課題探究のひとつとして応募した『高校生ビジネスグランプリ』で
5014件中トップ100に入ったり、学校行事や部活動を通して仲良
くなった先輩・後輩と休日に遊びに行くなど、毎日が充実。将来は人の生
活に少しでも役立てる仕事に就きたいと考えているので、生徒会活動
などで経験値を上げながら、授業で知識を増やしているところです。

中原 愛子さん(高校2年生)



中高一貫校の修学館ならではの異学年交流が
勉強や探究活動にも役立っています。

体育祭や文化祭などの学校行事では、中高一貫校ならではの異学年
交流が盛んに行われます。部活動で高校生の先輩が中学生の後輩に
教える姿も見慣れた日常です。私もたくさんのイベントに自ら積極的
に参加するようになり、学年を問わず多くの人と交流する機会が増え
ました。そこでの学びや経験が勉強と探究活動にも役立っています。

額川 和華さん(高校2年生)



2024年度 合格実績 (卒業生27名)

- 九州大学 共創学部
- 鹿児島大学 医学部医学科(既卒)
- 鹿児島大学 農学部
- 慶應義塾大学 法学部
- 明治大学 経営学部
- 上智大学 理工学部
- 立命館大学 理工学部
- 鹿児島大学 医学部医学科
- 鹿児島大学 工学部
- 鹿児島大学 教育学部
- 慶應義塾大学 総合政策学部
- 明治大学 理工学部(既卒)
- 同志社大学 理工学部
- 川崎医科大学 医学部医学科

【鹿児島修学館高等学校】大学等合格実績

※過去10年間(既卒生含む述べ人数) ※卒業生総数/308名

※過去10年間(既卒生含む述べ人数) ※卒業生総数/308人

国公立大学	
学校名	合格者数
鹿児島大学	27
九州大学	1
熊本大学	3
長崎大学	2
大分大学	1
宮崎大学	1
琉球大学	2
北九州市立大学	3
山口大学	2
広島大学	1
県立広島大学	1
公立鳥取環境大学	1
東京外国語大学	1
東京藝術大学	1
首都大学東京	1
筑波大学	3
帯広畜産大学	1

私立大学	
学校名	合格者数
早稲田大学	1
慶應義塾大学	3
上智大学	2
東京理科大学	5
学習院大学	1
明治大学	11
青山学院大学	2
立教大学	1
中央大学	2
法政大学	1
関西大学	1
同志社大学	3
立命館大学	6
日本大学	3
専修大学	2
成城大学	4
京都産業大学	2
近畿大学	3
龍谷大学	1
福岡大学	18
西南学院大学	11
立命館アジア太平洋大学	2
鹿児島国際大学院大学	45

私立大学(薬学部)	
学校名	合格者数
国際医療福祉大学	3
東京理科大学	1
東京薬科大学	1
帝京平成大学	1
横浜薬科大学	3
同志社女子大学	1
神戸薬科大学	1
神戸学院大学	3
徳島文理大学	1
安田女子大学	1
福山大学	5
福岡大学	3
第一薬科大学	8
長崎国際大学	7
崇城大学	8
九州医療科学大学	13
薬学部計	60

大学校	
学校名	合格者数
防衛大学校	1
水産大学校	1

国立大学(医学部・歯学部)		
学校名	学部	合格者数
鹿児島大学	医学部	5
金沢医科大学	医学部	1
昭和大学	医学部	1
川崎医科大学	医学部	1
福岡大学	医学部	1
久留米大学	医学部	2
医学部計		11

専門学校	
学校名	合格者数
第一医療リハビリ専門学校	1
鹿児島医療技術専門学校	5
大阪ハイテクノロジー専門学校	1
総合学園ヒューマンアカデミー	2
ASOポップカルチャー専門学校	1

希望進路実現へ
サポートも充実

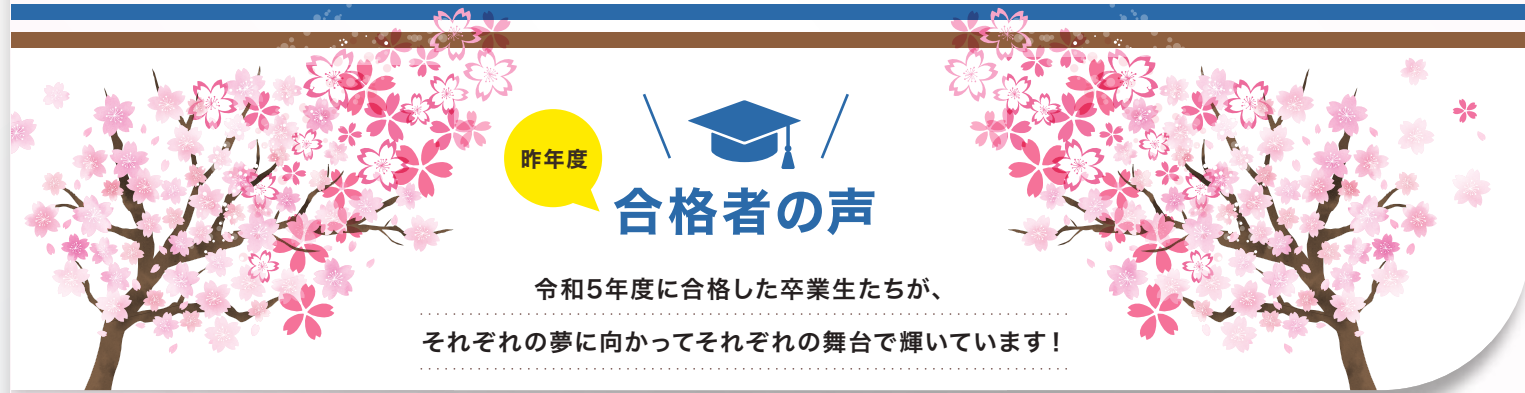


万全です！



希望進路実現への
サポートも充実！

難関大学にも続々合格！
大学受験対策も
万全です！



昨年度

合格者の声

令和5年度に合格した卒業生たちが、
それぞれの夢に向かってそれぞれの舞台で輝いています！



合格

鹿児島大学 医学部

生徒が不安なく勉強に集中できる
修学館ならではの環境のおかげで
在学中の目標達成と進路実現ができました。

生徒の自主性を尊重する教育方針と、どんな悩みでも先生方が親身になって相談に乗ってくださる安心感が修学館の魅力。勉強に集中できる環境のおかげで、在学中の目標にしていた中学卒業までの漢検二級と高校卒業までの英検準一級を取得することができました。特に英語に関しては、受験だけでなく大学の講義でも必須ということもあり、選択制の朝課外で学んだ文法や表現が役立っているのを実感。卒業後も修学館の先生と連絡を取り合い、医学部を目指す生徒に私の体験談を話す機会をいただくこともあるので、自分の経験を後輩が役立ててくれたら嬉しいです。

脇田 斗羽さん(2023年度卒業)

合格

上智大学 理工学部

卒業式で涙を流す先生を見た時、
心からの愛情を持って
指導してくださっていたのだと実感しました。

修学館は賑やかで楽しく、笑顔の絶えない学校です。少人数制のため先生と生徒との距離が近く、良い意味で緊張感を持たずにリラックスして学校生活を楽しむことができました。生徒思いの頼もしい先生が揃っていることやクラスの人数が少ないこともあって、授業でわからないことがあれば気軽に質問できますし、勉強以外のことでも親身になって相談に乗ってくれたのが心強かったですね。毎日欠かさず勉学に触れる時間を作ることを心がけてコツコツ取り組んだ結果、目標の大学に見事合格。卒業式で涙を流す先生を見た時、本当に愛情を込めて指導してくださったのだと実感しました。

前田 蒼さん(2023年度卒業)



合格

慶應義塾大学 法学部

『皆が楽しめる学校』を目標に、
学校行事の見直しなど生徒会長として
様々な改善に取り組みしました。

高校2年時に生徒会長に就任し、『皆が楽しめる学校』を目標に様々な改善に取り組みしました。その一つが学校行事の見直しです。高校3年時に企画・運営した体育祭では運動能力を問わず全員が楽しめる競技だったり、先輩・後輩との絆をより深めるために縦のつながりを意識した競技を増やすなど、競技内容を大幅に変更。初の試みでしたが、生徒の自主性を尊重してくださる先生方の心強いサポートもあり、無事に成功させることができました。修学館は自分が本当にやりたいことに真っ直ぐ向き合える学校です。何事にも積極的に挑戦して充実した学校生活を過ごしてください。

上山 照観さん(2023年度卒業)



合格

九州大学 共創学部

普段の授業でグループワークを
数多く経験できたことが
今の大学生活でとても役立っています。

『先生が優しい』『授業が楽しい』『文化祭や体育祭、クラスマッチなどの行事で生徒同士の仲が深まる』『自主的な勉強でも先生から質問に答えてもらったり、アドバイスがもらえる』など、修学館の魅力ならいくらでも挙げることができます。在学中は特に英語の勉強に力を入れていましたが、英検の2次試験に向けて朝や放課後などの時間を使って対策してくださった先生方には今でも感謝が絶えません。私が大学のグループワークでスムーズに意見を出したり円滑な進行ができてるのは、在学中に授業でグループワークをたくさん経験できたから。修学館での様々な学びが今とても役立っています。

平井 優衣さん(2023年度卒業)



合格

鹿児島大学 教育学部

6年間に共に過ごした友人や先生との絆が
修学館で得られた私の一番の宝物です。

授業や行事の様子をSNSで公開して修学館の魅力を外部に発信したり、体育祭ではプログラム作成に携わるなど、在学中は生徒会のメンバーとして主に広報活動や学校行事の運営に取り組んでいました。特に印象に残っているのは、文化祭で出店の復活に挑戦したことです。どの思い出も大切な私の青春の1ページ。修学館には中学と高校があるので、高校まで進めば友人と6年間を一緒に過ごすことができます。少人数制ということもあって、先生や友人とはまるで親戚のような関係。これから一生の付き合いになると確信していますし、この絆こそ私が修学館で得られた一番の宝物です。

山田 未来さん(2023年度卒業)



修学館の制服がリニューアル!

SHUGAKUKAN COLLECTION

より機能的に、より美しく。修学館の制服が生まれ変わりました!
毎日がさらにワクワクする新デザインの制服のこだわりを大公開!!

WINTER

冬服 STYLE



これまでの女子制服のシンボリックなブラウンのジャケットを継承。男子はグレンチェックのパンツ、
女子はスコットランドのロキヤロン社のタータンチェックのスカートで落ち着いた中に中高生らしい躍動感を感じさせます。

SUMMER

夏服 STYLE



鹿児島島の蒸し暑い夏の気候を快適に過ごせるように、パンツ、スカート共に爽やかなブルー系でまとめました。
ポロシャツは吸汗・速乾性に優れた素材で、白と紺の2色から選べます。長袖シャツとブラウスをそのまま合わせてもOKです。

一年中イベントが
満載です!



イベント盛りだくさん!



年間行事予定

学校生活を華やかに彩る四季折々のイベントや(学校行事)をご紹介します。



SUMMER | 夏 |

生徒総会 / オープンスクール / 夏期講習



AUTUMN | 秋 |

一日遠行(高1) / 一日遠足(中学) / 学校説明会
文化祭 / 芸術鑑賞会 / 修学旅行(高2)
生徒交流活動 / 創立記念日 / 体験学習(中2)
冬期講習 / 課題研究校内発表



WINTER | 冬 |

入学試験前期(中学) / 入学試験(高校)
入学試験後期(中学) / 生徒交流活動 / 卒業式



勉強も部活動も
楽しめる充実環境！



学びが進む充実施設！



学習環境

広々とした体育館など、充実した学習環境を整備しています。

探究活動にも
集中できる！



玄関ホール



図書館



SEルーム



探究学習室



フロア毎の職員室



卓球場



自習室



大講義室



体育館



グラウンド



校訓石碑とモニュメント



テニスコート



リズム室



体育講義室



渡り廊下

部活動で広がる
交流の輪！



先輩・後輩の交流も大切な経験！



部活動

修学館では、多くの生徒が勉強だけでなく部活動にも一生懸命取り組んでいます。

先輩・後輩との思い出は
まさに青春！



体育系



男子バスケットボール



サッカー



卓球



テニス



軟式野球(中学)



硬式野球(高校)

文化系



吹奏楽



美術



調理



写真



書道



ESS



放送



文芸



科学

教員からのメッセージ

生徒のことを第一に考え、教育熱心な先生ばかりの修学館。
そんな熱い先生たちから皆さんへメッセージをお届けします。

1 少人数だからそ実現するきめ細やかな学習指導。 生徒一人ひとりに寄り添い、見守っています。

修学館の魅力はなんと言ってもきめ細やかな学習指導。少人数だからこそ生徒一人ひとりに寄り添ったコミュニケーションを取ることができますし、小さな変化にもすぐに気づくことができます。また、ICT機器を効果的に使った授業やアクティブ・ラーニングなどの取り組みによって多くの生徒が主体性を身につけ、何事にも積極的に取り組めるようになりました。みんながのびのびと学校生活を送れる環境です。

齋藤 匠汰 先生(国語)



2 いろいろなことにチャレンジし、上手いかわない時でも 諦めずに続けながら自分の成長に繋げて欲しい。

教師と生徒の距離が近く、フレンドリーなのが修学館の特徴。授業では私から一方通行にならないように、生徒の方からたくさん発言してもらうようにしています。生活面では、周囲に与える影響なども含めて生徒が自ら考え、行動することを意識した指導が私の持ち味。修学館に在籍している間にはいろいろなことにチャレンジし、上手いかわない時でも諦めずに続けることで自分の成長に繋げて欲しいですね。

笹脇 真一郎 先生(理科・化学)



3 生徒たちの主体性や個性を育むのは、 教員全員が常に「生徒のために」行動する校風。

教育者として強く喜びを感じるののはやはり、生徒の笑顔を見ることができた時。また、真剣なまなざしを感じた時でしょうか。普段はニコニコしている生徒たちが、課題研究などの発表になると、凛とした立ち居振る舞いで見事に成し遂げ、こちらをハッとさせてくれます。教員全員が常に「生徒のために」考え、行動しているからこそ、生徒の成長を感じる瞬間は何物にも代えがたい喜びですね。

川崎 優志 先生(中学校／技術・家庭、高等学校／情報)



4 生徒が足を運びたくなる「ワクワク」を提供できる場所づくり、 そして生徒たちの居心地の良い空間づくりが目標です。

図書室の機能として、読書センター、学習センター、情報センターであることを意識して業務に当たっていますが、生徒の皆さんと同年代の子を持つ母としての経験こそ、皆さんの気持ちを理解する上で大きな役割を担っている気がします。困りごとや求めていることに少しでも寄り添えるように、本の貸出・返却だけでなく、いつも生徒たちのことを気にかけて、「ワクワク」を提供できる、居心地の良い空間づくりを心がけています。

田崎 由美子先生(司書)

5 社会に出て通用する力を伸ばすために、 生徒が自ら考えて問題解決できるような指導をしています。

修学館は生徒がやりたいことを自分で考え、伸び伸びと学べる場所。社会に出てから通用する力を伸ばすために、私の方から教えずに自分で意識し、生徒が自分の力で問題解決ができるような授業を心がけています。また、授業だけではなく、学校行事も生徒主体で様々なアイデアを出しながら全力で楽しみ、盛り上がることも修学館の特徴。みなさんと一緒に学べるのを楽しみにしています！

堀 博愛 先生(数学)



6 「過去」の選択の結果である「未来」のために、 「今」選択したことに真剣に向き合ってもらいたいですね。

修学館の魅力は生徒一人ひとりの個性を受け入れ、それを尊重すること。生徒と同じ目線でコミュニケーションを取りながら、できる限り生徒が主体的に学び、活動できるような工夫を心がけています。進路指導の立場に長く立っているため、キャリア教育の観点からアドバイスをしますが、人生は選択の連続です。「過去」の選択の結果である「未来」のために、「今」選択したことに真剣に向き合ってもらいたいですね。

下入佐 宏美 先生(英語)



7 国際バカロレア (IB) プログラムやICT機器を使った授業など、 時代に沿った先進的な取り組みを行っています。

国際バカロレア (IB) プログラムやICT機器を効果的に使った授業など、先進的な取り組みを行いながら“みんなで”学ぶことを大切にしています。私個人としては、生徒が知識の収集やそれを生かした探究ができるようにすることを意識しながら、少人数制の利点を活かして生徒の名前や性格、個性を把握した上で積極的に声をかけています。日々成長していく生徒の姿を間近で見られるのが何よりの喜びですね。

今林 克也 先生(社会・地理)



8 先輩後輩の垣根を超えたアットホームな校風はまさに修学館。 それぞれの個性をそれぞれが認め合える校風です。

普段生徒たちを見ていると、修学館らしさを感じる時があります。それは先輩後輩に関係なく自由に意見を交換し、お互いを尊重している時です。修学館には生徒それぞれの個性を、生徒それぞれが認め合う校風が根付いています。私が顧問を務める野球部には野球初心者も少なくありませんが、全員が尊重し合い、助け合い、みんなイキイキとした顔で楽しんでいるんですね。それは修学館だからこそその光景だと実感しています。

末重 勝大 先生(保健体育)



9 私自身の豊富な経験と、時代の先取りとなる先進的な教育で 生徒たちの満足をさらに向上させたいですね。

修学館では、ほぼ全校生徒の顔と名前が一致し、一人ひとりの生徒のことを多くの教員が理解できているため、生徒は多くの教員と深くかわり自分を伸ばすことが出来ます。さらに国際バカロレア (IB) の導入により、時代を先取りする価値ある教育に触れることができるようになります。私自身の教員としての長年の経験と先進的なカリキュラムで、生徒たちの満足度をもっともっと向上させたいですね。

中島 景子 先生(音楽)



卒業生の声

堀口 達史さん【2010年度卒業】

私は塾に通わず、修学館での学習だけで医学部（鹿児島大学）に合格することができました。進学のためにしたことは、強いて言うならば、先生方から出される課題にしっかり取り組んだこと。今考えると、それだけ授業が綿密に組み立てられたハイレベルなものだったんだと思います。

鹿児島大学 医学部卒業後、鹿児島大学病院を経て現在は済生会川内病院に勤務



中村 響さん【2018年度卒業】

英検や大学受験、課題研究活動において、先生方から「目標を立て、そこから逆算して日頃から何をすべきかを明確にする」ことの重要性を学びました。「こうしたい」という自分の強い気持ちを伝えれば、目標達成のために手厚い指導・支援をしてくださる先生がたくさんいらっしゃる学校です！

東京外国語大学 国際社会学部 英語科卒業後、現在は東京大学大学院に在籍



堂原 菜央さん【2020年度卒業】

私が修学館で学んだのは、課題研究を通して自ら問いを立て、その答えを探していく楽しさと大切さ。大学で公認会計士という新たな夢を見つけ、その勉強に取り組んでいますが、やりたいことを見つけ、時間を有効活用することを修学館の課題研究で学べた経験がとても役立っています！

明治大学 経営学部 会計学科に在籍



白元 亜可理さん【2004年度卒業】

放課後は毎日自習室を利用し、先生方は授業＋αの勉強に付き合ってくださいました。勉強以外の悩みを相談した時も気持ちに寄り添ってくださり、悩みを乗り越えられ、志望学部にも合格。医師として働く今があります。一人ひとりがフォローしてもらえる環境は、先生との距離が近い、修学館だからこそです。

鹿児島大学 医学部 医学科を卒業後、現在は鹿児島大学病院 神経内科・老年病学勤務



水之浦 駿さん【2014年度卒業】

在学中は英検取得のサポートや個別指導など、英語力向上や知見を広げることができ、英検準一級も取得！英語の他に、疑問を持つことや興味がある事について考えを深める楽しさを教えてくれたのも、修学館の先生方。現在の仕事でも、課題解決や知的好奇心の追求にその時の経験が活かされています。

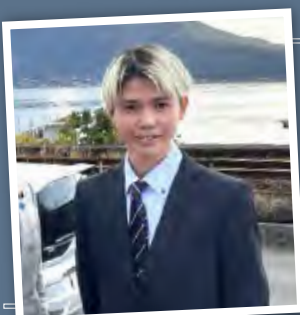
上智大学 外国語学部 英語学科を卒業後、現在は（株）現場サポートに勤務



寝占 泰志さん【2020年度卒業】

在学当時を振り返ると、成功体験より失敗体験の方が印象に残っていますね。同時に、その時に強く感じた後悔や反省が今の自分の成長に繋がっていると思います。修学館は生徒一人ひとりにスポットが当たる場所。生徒それぞれが持つ特技や性格を引き出し、活躍させてくれる学校ですよ！

鹿児島大学 法文学部 人文学科に在籍



川畑 隼介さん【2018年度卒業】

「継続して勉強することの大切さ」を修学館が教えてくれました。自分の中で何かひとつでも継続して勉強したものが中高時代にあると、新しいことを学び始める際でも上手く勉強できますよ。私の考えや行動を尊重し、一個人として見守りながら応援してくださった先生方に感謝しています。

鹿児島大学 医学部 医学科に在籍



保護者の声

生徒の個性を尊重してくださる先生方の元でのびのびと学び、成長していくのが楽しみです。

生徒たちの多様な考え方や個性を尊重してくださる寛容な先生方のおかげで勇登に自主性が芽生え、部活動や体育祭の応援団など様々な活動にチャレンジするようになりました。自分らしくのびのびと学び、常に前進を忘れず、挑戦できる大人へと成長していく姿を間近で見守るのは親としてとても幸せなことですね。

菅 勇登さん(中学2年生)と母・菅 栄里子さん



たくさんの素敵な出会いを通して2人の視野がどんどん広がっています。

明るくて一緒にいると楽しい友達や面白くて優しい先輩など、2人とも修学館でたくさんの素敵な出会いがあったようです。校内はもちろん、地域の方々と交流する機会も多く、視野がどんどん広がっている様子。行動範囲や交友関係が広がったことで言動もしっかりとしてきましたし、これからの成長が楽しみです。

佐々 麗さん(高校3年生)、凜太郎さん(高校1年生)と父・佐々 祐一さん



型にはまった教育ではないからこそ自分で考え、行動する力が身につきます。

担任の先生はもちろん、全ての先生が協力しながら生徒をサポートしてくださるので、親としても本当に心強い限り。型にはまったような教育の学校ではないので、自ら考えて行動することが大切になりますが、興味がある分野を探究したり将来につながる考え方を身につけるためにはベストな環境だと思います。

田口 真子さん(高校3年生)と母・田口 真奈美さん



大学進学だけをを目指す教育ではなく未来につながる教育に取り組む学校です。

良い意味でゆとりを持った教育をしている学校です。自分で考えたり、生徒間で協力して学んだり、生徒に自主性と協調性を求める修学館は、大学進学だけをを目指す教育ではなく、未来につながる教育に取り組んでいると思いますし、充実した学生生活を過ごす駿叶の将来が豊かなものになると確信しています。

柳元 駿叶さん(高校2年)、実織さん(中学2年)と父・柳元孝介さん



興味や関心を持って自ら進んで学ぶ姿勢が身についた2人を頼もしく思います。

修学館は個性豊かな生徒たちがのびのびと学べるように先生方がしっかりと見守ってくださる学校。丁寧な個別指導のおかげもあって、2人とも興味や関心を持って自ら進んで学ぶ姿勢が身につきました。生徒思いの先生方に支えられながら、困難があっても自分で道を切り開ける大人への成長を期待しています！

櫻井 智佳さん(高校1年生)、父・櫻井 健さん



募集要項

令和7年度 鹿児島修学館中学校生徒募集要項

- 前期**
- ▶ 1. 募集定員 第1学年 70名(男・女)
 - ▶ 2. 出願資格 令和7年3月小学校卒業予定者
 - ▶ 3. WEB出願期間 令和6年12月2日(月)から12月23日(月)まで。
 - ▶ 4. 検定料 12,000円 ※お支払いには、別途手数料がかかります。
支払い期間は、WEB出願登録期間と同じです。クレジットカード・コンビニ払い・Pay-easyの中から選びいただけます。
 - ▶ 5. 試験日 令和7年1月5日(日)
 - ▶ 6. 試験会場 鹿児島修学館中学校(本校会場のみ)
 - ▶ 7. 選抜方法 学力試験:8時15分入室／8時50分試験開始
※国語(45分)・算数(45分)・社会(30分)・理科(30分)の試験結果をもとに総合的に判断します。
 - ▶ 8. 持参するもの 受験票、筆記用具、上履き、靴入れ用袋
※試験中、机におけるものは、次のとおりです。
受験票／鉛筆(シャープペンシルも可)／鉛筆けずり／消しゴム／分度器のついていないものさし／ティッシュペーパー(中身のみ)、
腕時計(アラームは止めておく。またスマートウォッチなどの多機能な腕時計型ウェアラブル端末は不可)
 - ▶ 9. 合格発表 令和7年1月9日(木) 受験生本人宛にレターバックプラスで午前中に発送します。
※届け先の住所によっては、1月10日以降の配達となる場合があります。
※学校掲示はしません。また、電話等による問い合わせには応じません。
 - ▶ 10. 奨学生制度 入学者選抜試験の成績等をもとに学業奨学生を決定し、合格発表時に通知します。
 - ▶ 11. 入学手続き 令和7年1月10日(金)から2月3日(月)まで。(2月3日必着)
持参の場合は、8時30分から16時45分(1月25日(土)・28日(火)は12時20分)まで。
ただし、1月11日(土)・18日(土)・24日(金)・29日(水)・2月1日(土)および日曜・祝日は除きます。

- 後期**
- ▶ 1. 募集定員 第1学年 10名(男・女)
 - ▶ 2. 出願資格 令和7年3月小学校卒業予定者
 - ▶ 3. WEB出願期間 令和7年1月14日(火)から1月29日(水)まで。
 - ▶ 4. 検定料 12,000円 ※お支払いには、別途手数料がかかります。
支払い期間は、WEB出願登録期間と同じです。クレジットカード・コンビニ払い・Pay-easyの中から選びいただけます。
 - ▶ 5. 試験日 令和7年2月1日(土)
 - ▶ 6. 試験会場 鹿児島修学館中学校(本校会場のみ)。
 - ▶ 7. 選抜方法 (1)学力試験:8時20分入室／8時50分試験開始…作文(45分)・算数(45分)
(2)面接:受験生4名程度の集団面接 ※以上の結果をもとに総合的に判断します。
 - ▶ 8. 持参するもの 前期入学者選抜試験と同じ。(上記の「8.持参するもの」を参照ください)
 - ▶ 9. 合格発表 令和7年2月5日(水) 受験生本人宛にレターバックプラスで午前中に発送します。
※届け先の住所によっては、2月6日以降の配達となる場合があります。
※学校掲示はしません。また、電話等によるお問い合わせには応じません。
 - ▶ 10. 入学手続き 令和7年2月5日(水)から2月10日(月)まで。(2月10日必着)
持参の場合は、8時30分から16時45分まで。ただし、土曜・日曜は除きます。
 - ▶ 11. その他 学業奨学生制度は適用しません。

令和7年度 鹿児島修学館高等学校生徒募集要項

- ▶ 1. 募集定員 第1学年 80名(男・女) ※ただし、鹿児島修学館中学校からの進学者を含みます。
- ▶ 2. 出願資格 令和7年3月中学校卒業予定者およびすでに中学校を卒業した者(帰国子女を含みます)
- ▶ 3. 出願登録 【WEB登録】令和6年12月2日(月)から12月23日(月)まで。
【検定料】10,000円 ※お支払いには、別途手数料がかかります。
支払い期間は、WEB出願登録期間と同じです。クレジットカード・コンビニ払い・Pay-easyの中から選びいただけます。
【調査書提出】調査書は、中学校でまとめて、鹿児島修学館高等学校 事務室に提出してください。
提出期間は、令和7年1月6日(月)から1月14日(火)必着。
- ▶ 5. 試験日 令和7年1月24日(金) ※集合時間8時10分
- ▶ 6. 試験会場 鹿児島修学館高等学校
- ▶ 7. 選抜方法 調査書を含めて総合的に判断します。
(1)学力検査:国語・英語・数学(各100点・50分)
(2)面接
- ▶ 8. 持参するもの 受験票、筆記用具、上履き、靴入れ用袋
※試験中、机におけるものは、次のとおりです。
受験票／鉛筆(シャープペンシルも可)／鉛筆けずり／消しゴム／分度器のついていないものさし／コンパス／
腕時計(アラームは止めておく。またスマートウォッチなどの多機能な腕時計型ウェアラブル端末は不可)／ティッシュペーパー(中身のみ)
- ▶ 9. 専願制度 専願での志願者は本校への入学の意志が強いものとして合否判定の際に考慮されます。
ただし、本校の入学者選抜試験に合格したら、必ず本校に入学しなければなりません。
※専願での志願者は、WEB登録の際、専願を選択してください。
- ▶ 10. 合格発表 令和7年1月30日(木) ※中学校長宛にレターバックプラスで午前中に発送します。
※学校掲示はしません。また、電話等によるお問い合わせには応じません。
- ▶ 11. 奨学生制度 入学者選抜試験の結果をもとに奨学生を決定し、合格発表時に通知します。
- ▶ 12. 入学手続き 令和7年1月30日(木)から3月17日(月)まで(3月17日必着)
持参の場合は、8時30分から16時45分(2月15日(土)は12時20分)まで。
ただし、2月1日(土)・8日(土)・22日(土)・3月1日(土)・8日(土)・15日(土)日曜・祝日は除きます。

ごあいさつ・学校概要

「好きなことに夢中になってみませんか」

本校は、1983年設立の鹿児島中学校として産声をあげ、2002年4月ここ永吉の地に、鹿児島修学館中学校・鹿児島修学館高等学校の名称で中高一貫教育の学校としてスタートしました。

これまで「克己・礼節・飛躍」の校訓のもと、社会人基礎力の育成に力を入れながら、独自の教育活動に取り組んできましたが、さらに新しい時代に対応した、個性と創造性豊かな、活力ある人材の育成を目指す、特色ある中高一貫校として、また国際バカロレア中等教育プログラム(MYP)認定校として、新たな一歩を踏み出しました。

これからは、さらに多様化する世界、予測できない世界が待ち受けています。そのような世界でみなさんが新たな課題に直面した時、その解決に向け果敢に挑戦する人間であってほしいと願っています。

本校では「みんなが学ぶことの楽しさを知り、学び続ける力を身につける」を目標に掲げ、MYPを通したスキルの修得、さらにはスキルを生かした深い学びなど、生徒が主人公となる教育活動に取り組んでいます。どんなことをするのか、興味や関心を持っていただけたら幸いです。

みなさん一人ひとりには、きっと「好き」なことがあるでしょう。好きなことをやるのは楽しいことです。そして好きなことに夢中になることが「学び」の第一歩です。みなさんの「学び」を支援しながら、鹿児島修学館も一緒に学び続けていきたいと思っています。

ここ鹿児島修学館で、好きなことに夢中になってみませんか。

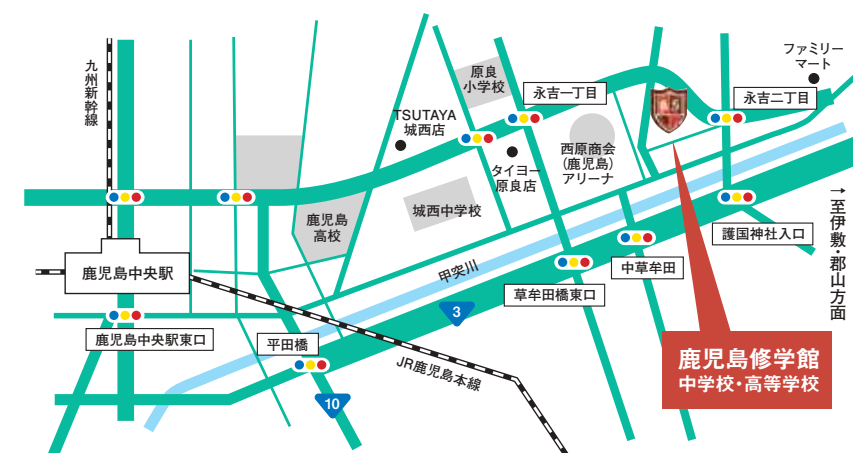


校長 中西昭郎

学校 教育目標

みんなが学ぶことの楽しさを知り、
学び続ける力を身につける

校 名	学校法人津曲学園 鹿児島修学館中学校・高等学校
設 立	昭和58年4月
校 長	中西 昭郎
所 在 地	〒890-0023 鹿児島市永吉二丁目9番1号
連 絡 先	電話 099-258-2211 FAX 099-258-2213 メール info@shugakukan.jp
U R L	https://www.shugakukan.ed.jp/



鹿児島修学館
中学校・高等学校